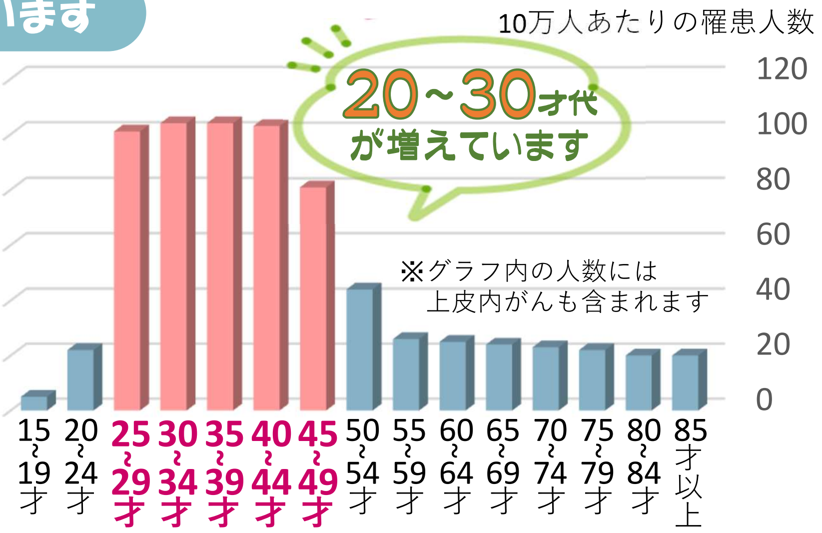
小6から高1相当の女子に!

あなたをがんから守るワクチンがあります!

（1997～2005年度生まれの女性も今年4月から3年間は特例で無料です）

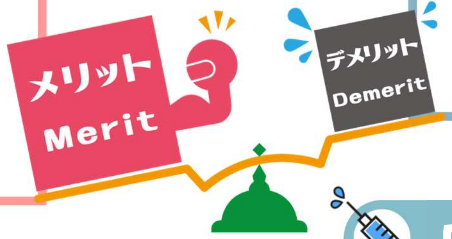
若い女性に子宮頸がんが増えています

- 毎年**約1万人がこのがんにかかり**約3000人が亡くなり、約1000人が妊娠できなくなります。
- この原因の**95%以上**が**HPV**（ヒトパピローマウイルス）です。
- **8割以上の人が一度は感染**するありふれたウイルスで、自然に排除されることが多いですが、子宮の入り口に感染するとがんになることがあります。
- 女性では乳がんの次に多いがんです。



ワクチンのメリット・デメリット

- 17歳までにワクチンを3回打つとがんを**70%～90%予防**できます。



- 副反応として接種直後の失神・ふらつき、注射部位の痛み・腫れがみられることがある。

ワクチンの安全性

広い範囲で痛みや体が動かしにくくなる場合（複合性局所疼痛症候群）がありますが、ワクチン接種をしていない人でも認められ、**ワクチンとの因果関係は不明**です。

世界保健機関（WHO）はワクチンの有効性・安全性を認めており、日本でも**副反応が特別に起こりやすいわけではない**ことが認められています。

がんにならないためにできること

1. 今から**ワクチン**を打つこと
2. ワクチンを打っても20歳になったら**検診**をうけること

ワクチンを良く知って接種しましょう

- 小学6年生～高校1年生の女子（1997～2005年度生まれも3年間）は無料です。
- 接種の意義を本人・保護者ともご理解いただく事が大切です。かかりつけ医とよく相談の上、接種されることをお勧めします。
- 重い症状がでた場合の医療体制も整っています。（自治医大・埼玉医大）

行田市医師会　行田市歯科医師会　行田市薬剤師会